

バーダー・マインホフ 理想の果てに (2008)

DER BAADER MEINHOF KOMPLEX
THE BAADER MEINHOF COMPLEX

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ドイツ／フランス／チェコ

色彩 Color

時間 150分

初公開日 2009/07/25

公開情報 ムービアイ

映倫 R-15

【キャッチコピー】

世界は
変えられと
信じていた――。

【解説】

60年代後半から世界中の若者の間に急速に広まった反帝国主義の過激な潮流の中ドイツに生まれた反権力組織“バーダー・マインホフ・グループ”のちのドイツ赤軍（R A F）の10年に及ぶ闘争の歴史を描いた実録ドラマ。理想に燃えた若者たちが、権力との闘争の中で過激化の一途を辿り、次第に孤立し自滅していく崩壊までの道のりをリアルに描き出す。主演は「マーサの幸せレシピ」のマルティナ・ゲデックと「es [エス]」のモーリッツ・ブライブトロイ。共演に「ヒトラー ～最期の12日間～」のブルーノ・ガンツ。監督は「ブルックリン最終出口」のウーリー・エデル。

1967年6月、西ベルリン。反米を掲げるデモのさなか、学生の一人が警官に射殺される事件が起こる。現場を取材していた女性ジャーナリストのウルリケ・マインホフは、国家権力の対応に疑問を抱き、左翼学生の運動に共感を寄せていく。翌年、アンドレアス・バーダーは恋人のグドルン・エンスリンと共にベトナム戦争に抗議してデパートに放火、直後に逮捕される。その後2人の理想に共鳴したマインホフは、彼らの脱走を自ら手引きし、ついにそれまでの全てを捨てて彼らと共に暴力による抵抗運動に身を投じる決意をする。こうしてマインホフ、バーダー、エンスリンをリーダーとする武装組織、ドイツ赤軍（R A F）が誕生するのだが…。

【クレジット】

監督	ウーリー・エデル	Uli Edel
製作	ベルント・アイヒンガー	Bernd Eichinger
製作総指揮	マルティン・モスコヴィッツ	Martin Moszkowicz
原作	シュテファン・アウスト	Stefan Aust
脚本	ベルント・アイヒンガー	Bernd Eichinger
撮影	ライナー・クラウスマン	Rainer Klausmann
プロダクションデザイン	ベルント・レペル	Bernd Lepel
衣装デザイン	ビルギット・ミザル	Birgit Missal
編集	アレクサンダー・バーナー	Alexander Berner
音楽	ペーター・ヒンデルトゥール フローリアン・テスロフ	Peter Hinderthür Florian Tessloff
出演	マルティナ・ゲデック	Martina Gedeck ウルリケ・マインホフ

モーリッツ・ブライプトロイ	Moritz Bleibtreu	アンドレアス・バーダー
ヨハンナ・ヴォカレク	Johanna Wokalek	グドルン・エンスリン
ナディヤ・ウール	Nadja Uhl	ブリギッテ・モーンハウプト
ヤン・ヨーゼフ・リーファース	Jan Josef Liefers	
スタイプ・エルツェッグ	Stipe Erceg	
ニルス・ブルーノ・シュミット	Niels Bruno Schmidt	
ヴィツェンツ・キーファー	Vinzenz Kiefer	
ジモン・リヒト	Simon Licht	ホルスト・マーラー
アレクサンドラ・マリア・ララ	Alexandra Maria Lara	ペトラ・シエルム
ハンナー・ヘルツシュプルンク	Hannah Herzsprung	
ゼバスティアン・ブロンベルク	Sebastian Blomberg	ルディ・ドウチュケ
ハイノ・フェルヒ	Heino Ferch	
ブルーノ・ガンツ	Bruno Ganz	ホルスト・ヘロルド